

代表質問事項一覧

3月6日（月）

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|---------|-----------|---|
| 代表質問（第1日）／6日（月） | 廣瀬（市政会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 令和5年度当初予算について</p> <p>令和5年度一般会計予算の規模が190億5000万円と過去最大規模となったが、市民や事業者がこの予算の効果を実感できなければならない。そこで、次の点について質問する。</p> <p>○ 当初予算説明資料には、高速交通網の県内延伸を生かす、子育て・教育の環境整備、人づくり・人材育成、安全・安心な暮らしを守る防災対策、健康のまちづくり、脱炭素ビジョンの実現、デジタル行政の推進といった項目が並んでいる。どれもが重要であることは理解できるが、石山市長が最も重視した点は何か。</p> <p>○ 一般会計予算全体のうち、自主財源は3割を確保したが、市税収入や使用料及び手数料などが減額見込みであり、財政調整基金繰入金など、基金を取り崩すことによって賄っている状況である。人口減少や高齢化の進展、災害などの突発的な財政出動に備えて、本市の財政状況や財源をどう捉えているのか。また、市債と財政調整基金の残高の今後の推移について、どう考えているのか。</p> |
| | | | <p>2 信頼ある行政運営を求めて</p> <p>大野市職員は法令を順守し、全体の奉仕者として市民福祉の向上と本市の発展のために仕事をしていただきたい。信頼ある行政でなければ、市民や事業者との協働によるまちづくりは進まない。</p> <p>今回、荒島岳の山中に清掃活動で出た草など、およそ300^{kg}を不法投棄したとして、市と市職員が書類送検された。そこで、次の点について質問する。</p> <p>○ このことに対する市長の見解は。</p> <p>○ 今後、再発防止に向けてどのような取り組みをしていくのか。</p> |
| | | | <p>3 子どもたちのより良い教育環境を目指して</p> <p>令和6年4月に中学校を2校に、令和8年4月に小学校を7校とする大野市小中学校再編計画に基づく取り組みが進められている。子どもたちや保護者の不安を丁寧に取り除きながら、子どもたちにとってより良い教育環境を整えることが重要である。そこで、次の点について質問する。</p> <p>○ 中学校の再編に向けては、中学校再編準備委員会でいろいろ検討されてきた。特に、子どもたちや保護者にとって関心の高い制服・体操服の選定、スクールバスの運行については、具体的にどこまで委員会で決定されたのか。そして、令和6年4月の中学校の再編に向けて、令和5年度はどのようなスケジュール感をもって進めていくのか。</p> <p>また部活動については、令和5年1月20日に市教育委員会と市校長会の連名で、小学校6年生と中学校1・2年生の保護者に対して文書が配布された。このことに関する教育委員会のスタンスは。</p> |

令和5年3月 第433回 大野市議会定例会

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|---------|-----------|---|
| 代表質問（第1日）／6日（月） | 廣瀬（市政会） | 一括質問・答弁方式 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動の地域移行については、運動部・文化部それぞれの受け皿となる団体の協力の下、中学校における休日部活動の段階的な地域への移行を進めるため、統括コーディネーターを1名配置する予算が計上された。部活動の地域移行を今後どのように進めていくのか。 ○ 学校改修については、開成中学校、陽明中学校、下庄小学校の改修に向けた予算が計上されているが、3校それぞれの改修における特長は何か。 また、有終南小学校と富田小学校の事前調査も予算に含まれているが、この調査の概要は。 ○ 先日の新聞報道で「進学先の中学校が2校に分かれている有終西小学校のPTAが、中学校区見直しに関して保護者から募った意見を教育長に提出した」という記事が出ていた。このことについて、教育委員会としての説明を求める。 ○ 天候に左右されず、子どもたちが安全に安心して遊ぶことができる屋内型子どもの遊び場整備に向けて、実施設計の予算が計上されている。今後の整備をどのように進めていくのか。 ○ 長期休業期間の子どもの居場所づくりについては、市長の提案理由説明と教育長の所信表明の両方で述べられたように、エキサイト広場を活用し、放課後児童クラブと放課後子ども教室の児童が交流できるような取り組みをするということだが、詳細な説明を求める。 |
| | | | <p>4 新型コロナウイルス感染症の対応について</p> <p>新型コロナウイルスの発生から3年余りが経過した。政府は、5月8日から同ウイルスの感染法上の分類を従来の「2類相当」から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることを選定した。マスクの着用についても、これまでは原則として屋外では不要、屋内では着用となっていたのが、3月13日以降は屋内外を問わず、着脱は個人の判断とする方針を固めた。 こうした国の方針を受け、以下の点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市の対応として、今後、何がどのように変わるのか。 ○ 学校や保育園・こども園の現場において、マスクの着脱の方針をどうするのか。また、コロナウイルスの発生以来3年間、小中学校の修学旅行の行き先等が制限されたが、今年の修学旅行はどのようなのか。 ○ コロナワクチンの接種は、感染の拡大を防ぐため公費から賄われている。厚生労働省の専門部会で、本年3月まで公費による負担を続けていく方針を了承した。当初予算においても、コロナワクチンの接種を実施する予算が計上されている。市として、今後、コロナワクチンの接種をどう行っていくのか方針を聞きたい。 ○ 長引くコロナ渦とウクライナ情勢や円安の影響による物価の上昇、それに追い打ちを掛けるような電気料金の値上げにより、個人や事業所の会計はかなり苦しくなっている。個人や事業者に対する市独自の支援をどのように行うのか。 |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|---------|-----------|---|
| 代表質問（第1日）／6日（月） | 廣瀬（市政会） | 一括質問・答弁方式 | <p>5 大野市街地と地域経済の活性化を目指して</p> <p>地域の活性化に向けて地域経済部を中心に事業者の稼ぐ力を支援するとしているが、市税収入は減額の見込みであり、施策の抜本的改革が必要である。 そこで、次の点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中部縦貫自動車道については、大野ICから勝原IC間が3月19日に、勝原ICから九頭竜IC間が今年秋に開通予定である。 この中部縦貫自動車道の開通を本市の稼ぐ力につなげるためには、まずインターチェンジ周辺において官民の投資で魅力向上を図り、本市へ降り立ってもらうことが重要となる。 そして市長の提案理由説明にもあったように、観光客の周遊性の向上や滞在時間の延長を図るため、魅力ある観光コンテンツをさらに磨き上げることが必要となってくる。具体的にどのような取り組みをするのか。 ○ 北陸新幹線については、金沢駅から敦賀駅間が令和5年度末の開業を目指して整備工事が進められている。 JR越美北線は、終着駅である九頭竜湖駅を持つ本市にとって、ダイヤ改正や運行本数の増加など利便性をさらに高められれば、観光利用による地域活性化を図ることができる重要なインフラである。市長の考えは。 ○ 市長の提案理由説明の中で、「星空保護区」の南六呂師区での認定を目指し準備を進めており、本年10月には「第35回星空の街・あおぞらの街全国大会」を本市において開催するとしている。この大会の具体的な内容は。 ○ 自然豊かな本市の特徴を生かした農業や林業は大変重要であり、名水に育まれた商工業をさらに融合することができれば、訪れる人の満足度は高くなる。そのためには、観光を産業化させる必要がある。 そこで、令和5年度の臨時事業として予算化された「観光を軸に稼ぐ新組織設立事業」に対する市長の意気込みを伺う。 ○ 株式会社平成大野屋については、市長の提案理由説明の中で、人の交流や物流の拡大が見込まれるに当たり、市内の業者と連携して、地域で稼げる観光を推進するため、新たな組織の設立を目指すとしている。どのような組織を目指しているのか。 ○ 令和4年12月に大野市都市マスタープランが改訂された。都市づくりの目標を「誰もが結の心で安全・安心に、にぎわいの中で住み続けられるまち」の実現としている。この目標の実現に向けて、令和5年度はどのような施策を打つのか。 |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|---------|-----------|---|
| 代表質問（第1日）／6日（月） | 廣瀬（市政会） | 一括質問・答弁方式 | <p>6 公共施設再編について</p> <p>公共施設の再編については、大野市公共施設等総合管理計画（大野市公共施設再編計画編）の方針に沿って、公共施設の解体や譲渡などを進めていくとしている。そこで、以下の点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 譲渡予定の15施設のうち、市民の関心の高い宝慶寺いこいの森、国民休養地、九頭竜スキー場、和泉前坂家族旅行村について、現在までの状況は。今後、譲渡に向けてどのように取り組んでいく予定か。 ○ フレアール和泉については、12月議会で改修費が計上され、議会はそれを認めた。現在までの執行状況は。そして、4月から指定管理者が代わって再開される予定だが、今後どのように再開されるのか。 ○ 自然体験活動施設（六呂師自然楽舎）は廃止検討、うらら館は現状維持判定であるが入場者数は減っている。六呂師高原の開発については、令和4年3月に県と市で六呂師高原活性化構想が策定された。そして12月、県が「六呂師高原開発計画案作成および調査業務」の公募を開始し、市でも12月議会において六呂師の土地購入の予算を認めた。しかし、今回「六呂師高原開発計画案作成および調査業務」の募集期間が9月29日まで延長された。このことに対する説明を求める。そして六呂師高原の開発を、今後、市は県と協力してどのように進めていくのか。具体的なビジョンを示されたい。 ○ 令和3年4月以降、休館となっている「スターランドさかだに」については、昨年の12月議会で地元から、再開に向けた要望書が提出され、いよいよ本年4月から供用を再開するとしている。再開に向け、市としてどのような支援を行うのか。 |
| | | | <p>7 脱炭素ビジョンについて</p> <p>現在パブリックコメントが実施されている大野市脱炭素ビジョン（案）では、豊かな森の保全による二酸化炭素 吸収を促進し、快適で脱炭素なライフスタイルへの転換を図り、地域資源を活用した再生可能エネルギーを導入し、再生可能エネルギーを活用した地域経済の成長・循環を目指すとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長の提案理由説明の中で、新年度は市内の関係団体や事業者との協議を継続し、プロジェクトの具現化を目指すとしている。具体的にどのような取り組みをするのか。 ○ 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入や再生可能エネルギーを活用した地域経済の成長・循環を図るための課題とそれに対する施策をどう考えているのか。 |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|---|------------|-----------|--|
| 代表質問（第1日）／6日（月） | 岸本（大野市民の会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 第六次大野市総合計画前期基本計画について</p> |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第六次大野市総合計画前期基本計画の六つの基本目標における2年間の進捗（しんちよく）状況と成果について伺う。 ○ 第六次大野市総合計画前期基本計画の六つの基本目標において、令和5年度での取り組みの中で、市長が最も訴えたいこと、特に力を入れることについて伺う。 |
| | | | <p>2 高速交通アクションプログラムについて</p> |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在までどれくらいの企業に誘致の働き掛けをしているのか。 ○ 企業誘致を働き掛けた具体的な業種と企業の反応・感触について伺う。 ○ 地元企業に対する稼ぐ力応援事業、魅力発信プロモーション事業とは具体的にどのような内容なのか。 ○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」を介して、さまざまなイベントや各種情報を観光客にどのように発信しているのか。また今後はどのように考えているのか。 |
| | | | <p>3 子育て・教育の環境整備について</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 長期休業期間の居場所づくりとは具体的にどのような内容か。実施する期間・時間帯・受け入れする人数も含めて伺う。 ○ 部活動地域移行推進事業として運動部・文化部それぞれの受け皿となる団体協力の下、中学校における休日部活動の段階的な地域への移行実施とあるが、現在の進捗状況はどうか。 | | | |
| <p>4 安全・安心な暮らしを守る防災対策について</p> | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者や要介護者の避難に対し、自助・共助・公助の観点から市としてどのように対応するのか。また、市民や地区に取り組んでほしいことは何か。 ○ 要介護者、認知症患者に対し速やかに避難できるように、GPSの活用が不可欠と思うが、GPS機能が付いた位置検索装置購入の補助金を含めてどのように取り組んでいくのか。 ○ 防災拠点となるべき施設において、十分な食料・備品類が備蓄されているか。 | | | |
| <p>5 2050年カーボンニュートラルの実現（脱炭素ビジョン実現）について</p> | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、大野市脱炭素ビジョン（案）のパブリックコメントを実施しているが、市が目指す脱炭素社会とはどのようなものか。 ○ ビジョンを実現させるためには、市民、事業者への浸透が不可欠と考えるが、市として何をするのか。また市民に取り組んでほしいことは何か。 | | | |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|--|-----------|-----------|---|
| 代表質問（第1日）／6日（月） | 木戸屋（もえぎ会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 公共施設の耐震について</p> |
| | | | <p>○ 市は、市民の生命財産を守るという使命から、昭和56年以前の建物の耐震診断を積極的に勧奨し、可能な建物について耐震補強を促しているが、ここ近年の実績と今後の施策はどうか。</p> |
| | | | <p>2 令和5年度の財政について</p> |
| | | | <p>○ 令和5年度当初予算案の歳入状況において、繰入金では昨年度比44.4%、約3億6千万円の増、市債では昨年度比67.9%、約6億1千万円増となっている。安定した財政運営が懸念されるが、予算編成の基本方針に掲げられている財政の健全化に向けて配慮した点や努力していく点は何か。</p> |
| | | | <p>3 大学との連携について</p> |
| | | | <p>○ 市では近年、関西大学をはじめ、幾つかの大学と連携しながら研究を行ったり、活動をしたりしている。その点について、現状と今後の施策はどうか。また、研究や活動を市政にどのように生かしているのか。</p> |
| | | | <p>4 ゴミの処理について</p> |
| <p>○ 市はゴミ減量化・分別化に力を入れているが、現状はどうか。また、産業廃棄物等の管理、処分の指導監督はどうなっているのか。</p> | | | |
| <p>5 脱炭素ビジョンについて</p> | | | |
| <p>○ 重要施策として「脱炭素ビジョンの実現」を掲げ、ゼロカーボン、カーボンニュートラルの実現に取り組んでいるが、二酸化炭素排出量の削減量はどうか。現状と今後の施策はどうか。</p> | | | |
| <p>6 観光誘客について</p> | | | |
| <p>○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」への来訪客は100万人を達成したが、そのうち何人が市街地の「まちなか観光」に誘導されたのか。現状と今後の施策はどうか。</p> | | | |
| <p>7 治水対策について</p> | | | |
| <p>○ 令和5年度当初予算案では、流域治水を強化しているが、その主な施策は何か。また、国や県との連携を強めて取り組むことは何か。</p> | | | |

令和5年3月 第433回 大野市議会定例会

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|---|-----------|-----------|---|
| 代表質問（第1日）／6日（月） | 木戸屋（もえぎ会） | 一括質問・答弁方式 | <p>8 持続可能な農業について</p> |
| | | | <p>○ 近年、本市管内の耕作面積の現状はどうなっているか。 農業者の高齢化が進み、後継者も不足している。この点について対処するために行っている施策は何か。また、その成果はどうか。</p> |
| | | | <p>9 高齢者の交通手段について</p> |
| | | | <p>○ 高齢者にとって移動手段の確保は大きな問題である。本市の高齢者の希望に合った交通手段の施策を構築することは喫緊の課題である。 現在取り組んでいる施策、今後改善する方向性は。</p> |
| | | | <p>10 越美北線の存続について</p> |
| | | | <p>○ 3月18日にはJR西日本のダイヤ改正が行われる。 JR越美北線の存続は本市にとって大きな課題であるが、現状と今後の施策はどうか。</p> |
| | | | <p>11 小・中学校の大規模改修について</p> |
| | | | <p>○ 開成中学校、陽明中学校、下庄小学校の大規模改修が進んでいるが、今後、他の小・中学校の大規模改修が続く。令和5年度当初予算案でも、約15億円の小中学校施設改修事業の予算が計上されており、今後、債務の返済が重なり財政運営を圧迫する可能性も懸念される。 今後の学校改修に係る歳入・歳出について、どのような見通しを持っているのか。</p> |
| | | | <p>12 中学校再編後のスクールバスの運行について</p> |
| <p>○ 令和6年4月に中学校が2校に統廃合される。保護者や生徒の大きな不安材料となっているのが、スクールバスの具体的な運行方法である。 スクールバスの安全安心な運行に向けての準備について、現在取り組んでいることと令和5年度に取り組んでいくことは何か。</p> | | | |

一般質問事項一覧

3月6日（月）

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------------|---------|--------|--|
| 一般質問 (第1日) / 6日(月) | 野村(無党派) | 一問一答方式 | <p>1 物価高騰による全市民への支援策について</p> <p>○ 物価高騰対策に数々の施策を取っていることは評価するが、対象者が限定されている。 物価高による市民生活への影響をどのように把握・認識しているのか。市民のどの層に支援が必要と考えているのか。</p> <p>○ 物価高は多くの市民に影響があり、全市民を対象に支援することを求める。</p> <p>○ 国民・市民の暮らしを守るため、国に対して最低賃金引き上げ、消費税引き下げ、年金支給額の引き上げ、医療費・介護利用料の引き下げ、インボイスの中止を行うことを要望するよう求める。 上記に対する理事者の答弁を求める。</p> |
| | | | <p>2 学校給食無償化について</p> <p>○ 学校給食は教育の一環であり、日本国憲法第26条により義務教育はこれを無償としている。少子化・過疎化・子どもの貧困問題を背景に、手厚い支援で子育て世代の流出を食い止め、新住民を呼び込む狙いもある。 給食の無償化は全国的に広がっており、小・中学校とも給食費が無償の自治体は254となっている。 物価高の中、保護者には給食費のほか、学校外で使う本やドリルなどの教材、学習塾などの費用が家計を圧迫している。 本市でも学校給食費の無償化を行うことを求める。</p> <p>○ 国に対して学校給食無償化を迅速に実施するよう強く要望することを求める。 上記に対する理事者の答弁を求める。</p> |
| | | | <p>3 和泉地域活性化について</p> <p>○ 中部縦貫自動車道九頭竜IC開通時及び全線開通後の九頭竜ICから下車する台数・人数はどのように見込んでいるのか。</p> <p>○ 和泉地区の課題は。その対策をどのように考え進めようとしているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この2年間の道の駅九頭竜の来客数・売上高の推移は。 ・ 道の駅九頭竜への販売業者数と売上高は。 ・ 道の駅九頭竜の拡充計画は。 ・ 地域づくりへの地区自治会の役割をどのように考えるか。 ・ 地域づくりに新たな地域活性化資金交付の考えはないか。 <p>上記に対する理事者の答弁を求める。</p> |

一般質問事項一覧

3月7日（火）

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-------------------------|---------|-----------|---|
| 一般質問 (第2日) ／7日(火) | 山崎(清風会) | 一括質問・答弁方式 | <p>1 中部縦貫自動車道について</p> <p>○ 整備の進捗状況と、予算編成の基本方針で県内全線開通を見据えた戦略的なを展開するとは具体的にどのような事なのかをお伺いする。</p> |
| | | | <p>2 少子化対策について</p> <p>○ 市長の少子化対策について、子どもの産み育てやすい環境とは具体的にどのようなものなのかをお伺いする。</p> <p>○ 出産経費への補助は、どのようなものがあるのかをお伺いする。</p> <p>○ 福井県内で一番子育てしやすいまちとは、どのようなものをいうのかをお伺いする。</p> |
| | | | <p>3 人口減少対策について</p> <p>○ 結の故郷奨学金制度は、なぜ廃止としたのかをお伺いする。</p> <p>○ 他の奨学金制度は、どのようなものがあるのか。あるならば、活用状況はどうかをお伺いする。</p> |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------------------|--------------|---------------|---|
| 一般質問 (第2日) ／7日 (火) | 高岡 (もえぎ会) | 一括質問・ 答弁方式 | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 度重なる不祥事について、市長の思いを聞きたい。 ○ 昨今行われた選挙の投票率について、市長の思いを聞きたい。 <p>2 教育長の政治姿勢について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、学校におけるいじめ・暴力・問題行動・不登校・引きこもり・自殺等の現状はどうか。 ○ また教職員からの暴力・問題行動等はどうか。 ○ LGBTQの現状はどうか。対処はどうしているのか。 |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|---------|-----------|---|
| 一般質問（第2日）／7日（火） | 白崎（市政会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 サトイモの病気対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年8月に市内で発生したサトイモの病気について、その影響はどうであったのか。各年度の収穫量の推移はどのようになっているのか。 ○ 令和4年度の市内におけるサトイモの病気の発生状況はどうであったのか。 ○ 令和5年度当初予算において、サトイモ園芸タウン事業補助が大幅に減額となっているのはなぜか。 ○ 令和5年度のサトイモの病気対策への方針はどのようになっているのか。 |
| | | | <p>2 マイナンバーカードの交付について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、本市におけるマイナンバーカードの交付率はどのように推移しているのか。本市における交付率は県内各市町と比較してどのようになっているのか。 ○ 市民がマイナンバーカードを所持することに対するメリットとして、どのようなことがあるのか。 ○ 本市では、交付率の向上を図るため、どのような取り組みをしてくれているのか。 ○ 令和5年度、交付率向上のため、どのような取り組みをしていく予定なのか。 |
| | | | <p>3 中学校の部活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度の新入生から部活動への入部が任意となった経緯と理由についてお伺いしたい。 ○ 新入生が部活動に入部しないことによる団体競技等への影響はないのか。 ○ 石山市長の提案理由説明及び久保教育長の所信表明にあった、軟式野球、サッカー、バスケットボールの3競技において令和4年度に実施した実践研究で見えてきた課題にはどのようなものがあるのか。その課題にどのように対応していく予定なのか。 ○ 今後の部活動の在り方について、地域移行も含めて、教育委員会ではどのような議論をし、最終的な部活動の在り方をどのように考えているのか。 |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------------|---------|-----------|--|
| 一般質問 (第2日) / 7日(火) | 伊東(市政会) | 一括質問・答弁方式 | <p>1 移動手段の確保・支援について</p> <p>現在、市内の移動手段の大半が自家用車であるが、高齢者だけでなく、障がいがある方や妊婦など、車を運転することができなくても、地域で安心して住み続けるには、通院、買い物などに伴う「移動手段」の確保が欠かせない。</p> <p>しかし、気軽に送迎を頼める人が身近にいなかったり、バス路線がなくなってまったり、バス停までの道のりが遠かったりと、外出に不便を感じる人は少なくない。</p> <p>外出することに困難を感じる人にも、使いやすく安全な移動手段を確保することは、これからの高齢化社会において重要な地域課題であると考えている。</p> <p>そこで、本市の移動手段の確保・支援について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市では、外出の際に公共交通の利用が困難な人に対して、どのような支援を行っているのか。 ○ 阪谷地区で行われている実証実験の経緯、またその成果は。 ○ 市民の公共交通の利用促進、かつ持続可能な地域交通の維持に向けて、市内のタクシー事業者を活用し、地域の移動ニーズに合ったサービスを提供してはどうか。 |
| | | | <p>2 大野出身の若者への就職支援について</p> <p>高校卒業後、市外や県外に進学する学生の大半はそのまま市外・県外で就職してしまう傾向にある。</p> <p>就職活動時に大野市への就職を選択肢として持ってもらうためには、県外就職にはない魅力的な支援が必要と考える。若者の率直な意見・要望を聞き、市の取り組みに反映させることで大野市と若者とのつながりづくりが強化され、雇用促進が込めるのではないかと考える。そこで、次の4点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野に帰ってくる若者の就職先について、学生とのマッチングがうまくできていないと感じるが、市の見解を伺う。 ○ 都市部における採用活動が早期化している中、県外への進学者に対し、市内や県内の企業の魅力に触れる機会を提供していくことはI・Uターン就職を促進することにつながると考えるが、市の見解を伺う。 ○ 地元就職のきっかけとなるような市独自の経済的支援を行ってはどうか。 ○ 奨学金返還支援(代理返還)制度について、市内の活用状況を伺う。 |
| | | | <p>3 除雪支援について</p> <p>例年12月から2月にかけて積雪が観測される本市では、屋根雪下ろしなどの除雪支援が不可欠である。しかし、高齢化や排雪場所の確保など、現在の支援だけでは解決できない課題も多く、今後、課題解決に向けた新たな支援策が必要であると考える。そこで、次の2点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 屋根雪下ろし支援事業の過去2年間の使用実績について伺う。また、そこで見えた課題とは何か。 ○ 自治会への小型除雪機等の購入補助の支援状況について伺う。今後、地域内で小型除雪機を円滑に管理・活用していくために、こういった仕組みを作っていくのか。 |

令和5年3月 第433回 大野市議会定例会

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|---------|-----------|--|
| 一般質問（第2日）／7日（火） | 高田（市政会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 本市の経済対策について</p> <p>ハローワーク大野の雇用情勢によると、令和4年12月の有効求人倍率は1.68倍となり、24カ月以上ぶりに前年同月と変わらずとなった。 就職件数（常用）は55件（前年同月より11件減少）と発表されたことを受け、以下のことについてお伺いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表された雇用情勢を受け、本市の見解は。 ○ 経費高騰の現実を受け、企業・事業所への支援等の政策は。 |
| | | | <p>2 まちなかのにぎわい創出について</p> <p>令和8年春の中部縦貫自動車道県内全線開通及び令和5年度末の北陸新幹線敦賀開業を迎え、本市も観光誘客にさまざまな取り組みを考えられていることと思う。 まちなか交流センターの屋内型子どもの遊び場整備、大野簡易裁判所跡地に整備中の大手門広場、新しい組織で運用される平成大野屋、七間朝市の振興等々ある。 まちなかのにぎわい創出についてお伺いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光入込客数が206万人とのことだが、中心市街地への観光入込客数は何人か。また越前大野城の入館者数は。 ○ 亀山公園の整備はどのようにお考えか。 |
| | | | <p>3 市民の安心、安全について</p> <p>昨年8月4日の記録的短時間大雨に襲われた際に、地域で作成されていた緊急連絡網が機能しなかった反省を受け、日頃からの防災意識の大事さを痛感した。 そこで以下のことについてお伺いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災メールの登録数は。 ○ 各区長に配備されているデジタル簡易無線機の活用方法は。 ○ 義務付けられている住宅用火災警報器の設置状況は。 |

一般質問事項一覧

3月8日（水）

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|------------|-----------|--|
| 一般質問（第3日）／8日（水） | 猪嶋（大野市民の会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 文化会館について</p> <p>文化会館が耐震上の問題から令和8年には使用できなくなるとのことである。令和8年といえは3年後。建て替えにしても、代替機能を持った施設を用意するにしても時間がない。</p> <p>○ 前回の議会において文化会館についての陳情があり、財政的な問題や関係者の意見を踏まえ検討を行っていきたいとのことであったが、市は文化会館の今後について、こういった方向性でどのようなスケジュールを想定しているのか。</p> |
| | | | <p>2 大野市水循環基本計画の進捗について</p> <p>大野市水循環基本計画には、水に関する多種の施策が掲げられ、それぞれに実施主体が定められている。また、それらの施策を5年以内の短期、10年以内の中期、10年以上の長期というスパンで捉え実施していくという位置付けがなされている。</p> <p>○ 計画策定から2年たち、まだ短期の半ばではあるが、市やその他機関が実施した施策や取り組み状況、その進捗（しんちよく）状況は。</p> |
| | | | <p>3 生態系を脅かす特定外来生物について</p> <p>○ 九頭竜湖など市内で増えている特定外来生物であるコクチバスについて、この問題を市はどのように認識しているのか。</p> |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|----------|-----------|---|
| 一般質問（第3日）／8日（水） | 梅林（もえぎ会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 健全化財政と当初予算（案）について</p> <p>○ 県道皿谷大野線の整備に伴う、公園の移設による都市公園整備事業1億2,062万1千円はどのようなものなのか。 時代の変化や昨今の社会状況の中において、土地開発基金の廃止が求められると思うが、所見を伺う。</p> <p>○ 公共下水道建設事業7億184万2千円のうち、泉町の管きよ整備に係る費用と、今後のスケジュールは。</p> |
| | | | <p>2 こども家庭センター設置について</p> <p>○ こども家庭センターが目指すものは何か。利用対象者に分かりやすいキャッチコピーを作るとしたら、どのようなものが考えられるか。</p> |
| | | | <p>3 「大野市地域交通計画」の策定について</p> <p>○ 新しい交通ネットワークを構築する「大野市地域交通計画」の策定により、高齢者や障がいを持つ方など日常生活に困難や不安を抱えている市民に対して、どのようなメリット、変化があるのか。</p> |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|------------|-----------|--|
| 一般質問（第3日）／8日（水） | 笹山（大野市民の会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 星空保護区認定取得後について</p> <p>中部縦貫自動車道九頭竜IC開通、北陸新幹線金沢・敦賀間開業が目前に迫り、本市もこの機会を生かしPRし、誘客につなぐことのできる最大のチャンスである。</p> <p>本市の高速交通アクションプログラムにおける「日本一の星空発信事業」もその一翼を担うことを期待している。</p> <p>○ 現在「星空ハンモック」や「星降るランタンナイト」など、星空を楽しむイベントを活発に行っているが、星空保護区認定後はどのような取り組みを予定しているか詳しく伺いたい。</p> <p>○ 認定による反響、誘客にはどの程度の効果があると想定しているか。</p> <p>○ 星空を見にきても宿泊施設がないなどの意見もあるようだが、対策を検討しているのか。</p> <p>2 スターランドさかだにの運営について</p> <p>越前おおの型食・農業・農村ビジョンにおいて、もうかる農業の振興や活力ある農山村づくりなどを進めていくとあるが、本年4月から「スターランドさかだに」も再開することは、地元に住む私としても嬉しいニュースである。</p> <p>○ そば処の開設やそば打ち体験を実施するとあるが、それ以外の取り組みはあるか。</p> <p>○ 再開を知らせる情報発信の方法や取り組みは。</p> <p>○ 再度休館にならないためにも、施設を運営するスターランドさかだに運営協議会の自立運営が最重要課題となるが、市としては同運営協議会に対してどのように協力をしていくのか。</p> <p>また将来、施設の譲渡がなされた場合、市としてはどう活用していくか。</p> |

| 日 | 質問者 | 質問方式 | 質問概要 |
|-----------------|------------|-----------|---|
| 一般質問（第3日）／8日（水） | 帰山（大野市民の会） | 一括質問・答弁方式 | <p>1 大野市脱炭素ビジョン（案）について</p> <hr/> <p>2021年3月、市は2050年までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティに挑戦することを宣言し、今回「大野市脱炭素ビジョン（案）」が示された。</p> <p>そこで、そのビジョンについて以下の点について問う。</p> <p>○豊かな森の保全によるCO₂吸収促進について 大野市はその面積の約87％を森林が占めており、当ビジョンは、森林吸収量を確保できるかが鍵となる。 ただ、林業の担い手不足は明らかであり、目的を達成するためには新たな担い手を確保しなければならないが、その具体的な方策はどのように考えているのか。</p> <p>○快適で脱炭素なライフスタイルへの転換について 住宅や事務所の改築、ライドシェアやカーシェアの推進、再エネ発電所の導入、ごみの減量化などを促進し脱炭素なライフスタイルに転換するとあるが、こは市民への周知と理解、協力が不可欠である。 今後どのように周知徹底を図っていくのか。</p> <p>○地域資源を活用した再エネの導入について 既に導入されている小水力発電は、一般的には耐用年数が20年といわれているが、今後さらに導入する予定はあるのか。 また、太陽光発電は一時各家庭での設置が進んだが、現在はあまり進んでいないように思われる。今後どのように推進していくのか。</p> |